

## ◆人権教育 子ども

メディア: DVD: D、V: ビデオ 対象: 幼稚園児: 幼、小学生: 小、中学生: 中、高校生: 高、青年: 青、教員: 教、PTA: P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内容
人権教育	子ども	422	くもりのち晴れ (アニメ)	V	40	小中高教P一般	いじめのために言葉を失った一人の少女の話を引きにつけて、先生を中心にクラス全員が学び成長した実践の記録をもとにアニメ化したもの。自分を表現する勇気、それを受け止める友の友情、そして、いじめグループの脅しをもともしない級友たちの勇気と正義感、それがいじめを克服していくために大切であることを教えてくれる。「どうして私がいじめられなければいけないの……」幸子の心からの叫びは、クラスのみんなに、お互いを思いやる心が芽生えさせてくる。
人権教育	子ども	621	子どもの声に耳をすませて	V	22	一般	子どもへの虐待は特別の人に起こるものではなく、誰にでも起こり得る問題です。このビデオは、虐待への正しい理解とその防止を図ることを目的に、子どもの立場に立って制作された。
人権教育	子ども	690	いのち輝くとき	V	30	中高教P一般	父親の虐待によって心を閉ざされてしまった昇(4歳)、母親の久美、別居中の父親の信一の家族が、「ふれあい菜園」と名づけられたマンションに隣接した畑で、花や野菜を育てている自治会のお年寄りの温かい思いやりと励ましで立ち直っていく。
人権教育	子ども	748	みーつけた! (アニメ)	V	18	小教P	学級の飼育委員会の仕事、うさぎの世話を通して、命の尊さやお互いのよさを見つけることにより、互いに自信を持って生きていくことの素晴らしさを描いている。
人権教育	子ども	749	お母ん、ぼく泣かへんで	V	41	小教P一般	小学5年生のやすおは、いじめられるのは父親が売れない漫才師のせいだと思っている。そんなとき、母親の春江はが入院することになり、学校にも行かなくなる。病院で「お父ちゃんの漫才をもういっぺん見たい」と春江がつぶやくのを聞いたやすおは、「病院で漫才をやってくれたら、自分は学校に行く」と父親に提案する。
人権教育	子ども	750	こころの交響楽 (アニメ)	V 字幕	43	小中高教P一般	市民病院の小児科を舞台に、喘息で入院している小学生矢沢直とろっ骨を骨折して入院してきた同学年の小林剛の入院中のできごとについて、家族や身近なところで起こる言葉や力による暴力の問題を取り上げ、「人間の尊厳・命の尊さ」、「自他共により良く生きていくために何が必要か」、「家族の在り方」などを考えさせる作品である。
人権教育	子ども	764	いじめストップ 金太郎ちからもち (アニメ)	V	13	幼小	足柄山の金太郎は人並みはずれた力持ち。ある日、森の広場で、金太郎は動物たちと相撲の稽古に励んでいると、一匹の小鹿が足をやってきて、足柄山の奥の方でたべものを探していたら、大きなクマに足柄山の食べ物はおれ様のものだから「とるな」といじめられと話す。長老のフクロウは、みんなに向かって「クマを『心のちからもち』にすることじゃ」、「いじめをするのは心が弱い証拠、金太郎のように心のちからもちになることが大事じゃ」と話す。
人権教育	子ども	771	地域の虐待防止 命の悲鳴を救うために	V	26	教P一般	あるマンションの主婦・田崎朋子は、隣室から時折聞こえてくる子どもの泣き声とヒステリックな母親の声に、不安を感じていた。ある日、マンション4階の外廊下で、隣室の桜井亜紀が、家に入るのを嫌がる息子・隆を手摺から突き出して叱りつける姿を目撃した。
人権教育	子ども	773	みんなであそんだ (アニメ)	V	28	小中高教P一般	城北中学2年1組の記録。「またかよ。さっきから何やってんだよ!」みんなをにらみつける緒方武。緒方はかなりイラついてた。大縄飛びを何度か繰り返すうちに、みんなのリズムが少しずつ合い始め、誰が引っかかっているのかわかった。矢部ちゃんだった……。矢部ちゃんには軽い障害がある。

メディア: DVD: D、V: ビデオ 対象: 幼稚園児: 幼、小学生: 小、中学生: 中、高校生: 高、青年: 青、教員: 教、PTA: P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内容	
人権教育	子ども	777	障害犬ギブのおくりもの	D	27	小中高教P一般	この物語は障害を持った犬を育てたある家族の実話に基づいています。小学生4年生の守口咲が、父・修平と母・久美子と一緒に、ペットショップに行くと、生まれつき右の前足が不自由なラブラドルの子犬がいた。咲が面倒を見る約束で子犬のギブを飼う。主人公は周囲の人々に支えられ、人との関わりの大切さ、命にかかわる責任、感謝の気持ちを知ることで「命」が与えてくれる贈り物の大切さに気づいていきます。	
人権教育	子ども	848	出会い系サイト	V	20	中高	【生徒指導】 中・高校生が軽い気持ちで出会って、事件に巻き込まれないかが心配です。リスクの重さを理解し、犯罪に遭わないよう自己防衛することを訴えます。	
人権教育	子ども	849	よーいドン?	V	18	小中	子たちが友だちの違いを理解し、その違いを排除するのではなく受容していく「共生」の素晴らしさと、その根底にある人間の尊厳を描くことをねらいとしている。	
人権教育	子ども	851	赤ずきんちゃん ちゃんとチェックー	—	V	13	幼小	子たちをいかにして犯罪から守るか。トラブルに巻き込まれることを未然に防ぐ「自己防衛」と「判断力」の育成が望まれる。「赤ずきん」の話をベースにどう対処すれば危険を最小に押さえ込めるのかを考える。
人権教育	子ども	852	さるカニ合戦 じめっこザルと正直カニさん	い	V	12	幼小	昔ばなしでみんなとお話。みんなでいじめを考える初期学習。
人権教育	子ども	853	いじめ 子供達を守るために一 期発見チェックポイント35	— 早	V	90	教P一般	教育者の方やいじめっ子・いじめられっ子の家族の方全員に、いじめの実態を認識していただくとともに、子どもたちの切実な悩みを早期発見できるか、そのポイントとなる項目をドラマ形式で再現。
人権教育	子ども	854	生きているのがこわい		V	28	中高青一般	自殺した子どもたちは、怒りや悲しみを綴った遺書を残しています。遺書にスポットをあて、遺書にこそ、いじめの真実があり決して許されるべきでない人権無視の非人道的行為が描かれている。
人権教育	子ども	855	いじめ・親として		V	30	高青一般	いじめを受けている我が子の現状に正面から向き合う親の基本姿勢を示唆します。
人権教育	子ども	870	私の権利、みんなの権利		V	14	小教P	5年3組でのドラマを通して、「子どもの権利条約」の中の、自分のことについて言う権利＝『意見表明権』について問題提起し、子どもたちに考えてもらいます。
人権教育	子ども	871	「虐待から子供たちを守るために」		V	53	青教P一般	近年日本では、子どもに対する人権侵害である虐待が深刻化しています。この作品では、児童虐待救済の状況をドラマとドキュメンタリーで紹介しながら、問題を潜在化、深刻化させないためには、当事者やその関係者だけではなく、地域での連携が不可欠であることを描いています。
人権教育	子ども	934	小さな叫び 虐待・・・あなたは他人事 と思いませんか?	V 字幕	30	中青教P一般	先入観や「女は女らしく・男は男らしく」などは差別意識、言葉の暴力につながっていませんか? また言葉の暴力は児童虐待においても大変深刻な問題です。しつけと虐待の違いについて考えてください。また、児童虐待を発見したときの対処方法、エスカレートしないために気をつけること、「おせっかい」と「他人に気を配ること」のちがいを考えさせる作品。	

メディア: DVD: D、V: ビデオ 対象: 幼稚園児: 幼、小学生: 小、中学生: 中、高校生: 高、青年: 青、教員: 教、PTA: P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内容
人権教育	子ども	935	プレゼント	V 字幕	17	小教一般	人権とは、私たちが幸せに生きるための権利で、私たちの日常生活のいちばん基本のルールといえるでしょう。この人権を尊重する意識を効果的に普及させるためには、幼少年期における子どもの人権感覚を育成することが極めて重要です。しかし、子どもをめぐる人権問題は、いじめを始めとして、体罰、不登校、児童虐待など様々な問題があり、大きな社会問題となっています。この作品は、子どもたちに、身近な問題であるいじめについて考えてもらうことにより、自分の人権の大切さに気づき、さらに自分と同様に他の人の人権も大切であることに気づいてもらうためにつくられました。
人権教育	子ども	964	ひびけ！和だいこ	V	22	小中教P一般	私たち大人は、「子ども」と「大人」の違いばかりに気をとられ「同じ」部分に鈍感になってしまった感があります。この作品は、「子どもの権利条約」を踏まえ、大人と子どもの関わり方や子どもの「意見表明権(第12条)」に焦点をあて、「自分の権利」と「他人の権利」がぶつかり合う場面を中心に、視聴者自身が「他人の権利を大切にすることが自分の権利を守ることである。」と気づくことをねらっています。
人権教育	子ども	984	名前…それは燃えるいのち (アニメ)	V 字幕	18	小中	桜が舞い散る、新学期。4年3組の新しい担任になったのは、姜明子(カンミョンジャ)先生でした。元気いっぱいクラスのなかで、よりかと平吉は宿命のケンカ友だち。名前のことでケンカになったよりかと平吉に姜先生は宿題を出します。「自分の名前のことを調べて、みんなの前で発表してください」翌日、みんなの前で発表する二人の顔は輝いていました。…両親の深い愛情に気付いた、よりか。…ブラジルに移住した祖父を誇りに思う、平吉。そして姜先生にも、自分の名前への深い思いがありました。民族ゾク名を隠し、「あきこ」と名乗っていた中学生の頃、姜先生が出会ったのは、ゴダイゴの「ビューティフル・ネーム」でした…
人権教育	子ども	985	いじめはゼツタイわるい！ (アニメ)	V	12	小	小学3年生の健一は、近ごろ学校へ行くのがつらい。茂樹・広平・浩の3人にいじめられているのだ。浩なんて、大の仲良しだったはずなのに…。学校の帰り道、健一の前にひとりの中学生が現れる。洋介と名乗るその中学生は、自分も小学生の頃からいじめられていたと言う。「いじめられたら、先生でも誰でもいいから大人に知らせて助けてもらうんだ。それは全然、卑怯なことじゃない。いじめるヤツらがゼツタイに悪いんだ」そう教わった健一は、勇気を出して先生に打ち明けた。健一へのいじめはなくなった。しかし…。こんどは浩がいじめの標的にされている。しかし健一はしらんぷりをして通り過ぎようとする。その様子を見ていた洋介が、「いじめを見て知らんぷりするのには、おまえもいじめをやっているのと同じことなんだぞ！」健一は駆け出し先生を呼んでくる。浩を助け、あたりを見回した時、洋介の姿はもうなかった。

メディア：DVD：D、V：ビデオ 対象：幼稚園児：幼、小学生：小、中学生：中、高校生：高、青年：青、教員：教、PTA：P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内容
人権教育	子ども	986	中学生のいじめを考える者・加害者・観衆・傍観者 被害	V	19	中高教P	啓子は、徹たち、いじめつグループから「汚い」「臭い」といじめられるようになる。小学校からの親友、由梨までも啓子を守る。親友が「観衆」「傍観者」としていじめに加担したことに強いショックを受ける啓子。だが、啓子は、親を悲しませたくないという思いからいじめの辛さを誰にも告げることができないでいた……。徹のいじめは、家で自分の思うことを何も口にすることができないストレスからきているものだった。だが、ある日、仲間から裏切られる。上級生に呼び出され、暴力をふるわれるようになる。徹は、いじめられる側になって自分がいままで自分の言いたいことを言っていなかったことに気づく。そのとき、傷ついた徹にそとハンカチを差し出したのは、いじめられていた啓子だった……。ドラマに出演した子役の中学生たちが「いじめ」を語り合う。また斎藤環先生・尾木直樹先生のアドバイスも収録
人権教育	子ども	1012	桃色のクレヨン(アニメ)	D	28	幼小中 青教P 一般	知的障害のいとこのふれあいを通じて、大切なこと(「かけがえのない命」の大切さを感じる、「思いやりの心」を大事することなど)に気付いていく主人公の姿をテーマにしており、子どもと大人が一緒に見て楽しめ、少しほろっときて、それでいて心が温まる作品です。
人権教育	子ども	1032	いわたくんちのおばあちゃん ぼく、戦争せんけえねー (アニメ)	D	20	小中	この作品は、昭和20年8月の広島で起こった実際のお話をもとになっています。戦争は、人の命を奪う最悪の人権侵害ともいえます。この作品を視聴した後は、平和や命の大切さを、学校で、地域で、家庭で話し合ってみてください。〈H21年〉
人権教育	子ども	1033	ある日突然に…に「いじめ」は似合わない 君	V	78	中高青 一般	主人公の少年は、いじめの現場を偶然見たことから、ある日突然にいわれなきいじめを受け始める。心の閉ざされていく主人公の少年の変化に父と母が苦悩する一方、担任の教師たちは、いじめの解決に向けて、生徒たちに訴える。〈H10年〉
人権教育	子ども	1043	ねずみくんのきもち (アニメ)	D	12	幼小	ロングセラーのねずみくんの絵本シリーズの中の「ねずみくんおきもち」を映像化した作品で、いじめやコンプレックス、自然とのつながりなど大切なテーマを、ねずみくんと一緒に学べる楽しいアニメーションです。〈H21年〉
人権教育	子ども	1065	子育てに希望を！ 児童虐待のない社会のために	D 字幕	19	高青 P 一般	児童虐待の背景の一つには、母親の子育て環境の問題があると考えられています。母親なら誰でも感じることのある子育ての不安。その不安から起因する問題とその解決法を、再現ドラマや、埼玉県和光市での取り組みについて収録されています。
人権教育	子ども	1073	ありったけの勇気	D 字幕	27	小教 P	友達との関わりや相手の気持ちを考えることの大切さ、いじめをなくすためにお互いに認め合い、本音で話せる関係づくりなど、いじめに立ち向かう勇気の大切さを訴えかけるドラマ作品です。

メディア：DVD：D、V：ビデオ 対象：幼稚園児：幼、小学生：小、中学生：中、高校生：高、青年：青、教員：教、PTA：P

大分類	小分類	番号	作品名	メディア	時間(分)	対象	内容
人権教育	子ども	1095	小学生篇 いじめと戦おう！ 私たちにできること	D	21	小教	鑑賞した児童が、いじめの加害者・被害者・傍観者の立場を理解し、自分の身に当てはめて考えることができるドラマ形式の教材です。クラスの大多数を占めるであろう傍観者がいかにして”いじめの構図”を崩せるかという視点を中心に、クラス全体で話し合うために活用いただけます。
人権教育	子ども	1097	中学生篇 いじめと戦おう！ ～もしもあの日に戻れたら～	D	23	小中教P	いじめによる中学生の自殺報道が相次ぎ、全国的に子どもの命や尊厳を守るための取り組みが必要とされています。いじめはどのようにして起こり、どうすれば防げるのかは保護者や教員にとって大きなテーマともいえます。本教材は、鑑賞した生徒がいじめのメカニズムや対策を自分の身に置き換えて考えることができるドラマ形式の教材です。
人権教育	子ども	1109	君が、いるから	D 字幕 副音声	33分	高青 教P 一般	子どもや若者は、社会の希望であり、未来をつくる存在です。しかし、現実を顧みると、子どもや若者が被害者や加害者になる悲痛な事件が後を絶ちません。母親からの心理的虐待に悩む主人公「奏」が、コンビニエンスストアを舞台とした「ほんの小さな冒険」をきっかけに少しずつ変わっていきます。人々とのふれあいを通して、ともに心を通わせ、信頼することの先に「希望」と「幸せ」があることが奏の成長を通して描かれています。
人権教育	子ども	1113	いじめ 一歩ふみだす勇氣	D 字幕	19分	中高 教P 一般	いじめの傍観者だった中学生の主人公が葛藤し、仲間と一緒にいじめの被害者を救っていこうとするストーリーを通して、いじめ解決のために一歩踏み出すことの大切さを伝えます。ドラマに登場するいじめの被害者・加害者・傍観者それぞれの立場に自分を置き換えて視聴することで、もし自分がその人物ならどうするか考え、話し合い、よりよい行動をとる力をつけていくことをねらいとしています。
人権教育	子ども	1114	いじめ 心の声に気づく力	D 字幕	19分	小中 教P 一般	小学校中・高学年向けの、いじめ防止教材ドラマです。一見、ふざけ合いや遊びに見える行為も、相手が苦痛を感じていれば、それはいじめです。子どもたちがドラマに登場するいじめの被害者・加害者・傍観者それぞれの立場に自分を置き換えて視聴することで、いじめの行為を受けたクラスメイトの本当の気持ちに気づく力を養い、傍観者にならず、解決のために行動しようとする意識をもつことをねらいとしています。
人権教育	子ども	1117	防ごう 子どもの虐待 日常の子育てから考える	D 字幕	25分	青教 P 一般	虐待という激しい暴力を思い浮かべますが、必ずしもそういう行為ばかりを指すものではありません。日常の中で、不適切な子育てを繰り返せば虐待になり得ます。虐待の芽は日常生活の中に潜み、誰もが虐待の当事者になる可能性があるともいえます。そうした観点に基づき、ドラマと専門家の解説を通して、日常の子育ての中で起こりがちな問題点を示し、虐待を防ぐために私たちにできることが描かれています。